

資料4

令和元年12月16日（月）
第9回実務者検討委員会

各分野・地域におけるつなぎ役の役割と分担の明確化について

国立国会図書館

連携状況（2019年12月12日現在）

15 連携機関 57 データベース メタデータ約1,960万件

分野	データ提供機関	データベース名
書籍等	国立国会図書館	「国立国会図書館サーチ」から、3件のデータベース
公文書	国立公文書館	「国立公文書館デジタルアーカイブ」
文化財	文化庁	「文化遺産オンライン」から、国指定文化財等データベース
	国立文化財機構	「ColBase 国立博物館所蔵品統合検索システム」
美術	国立美術館	「国立美術館所蔵作品総合目録検索システム」
		「アートコモンズ」
	日本写真保存センター	「写真原板データベース」
メディア芸術	映像産業振興機構	「Japan Content Catalog」から、2件のデータベース
舞台芸術	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	「演劇情報総合データベース」から、2件のデータベース
自然史・理工学	国立科学博物館	「サイエンスミュージアムネット S-Net」
		「魚類写真資料データベース」
人文学	人間文化研究機構	「人間文化研究機構統合検索システム nihuINT」から、36件のデータベース
	立命館大学アート・リサーチセンター	「ARC浮世絵ポータルデータベース」「ARC古典籍ポータルデータベース」
学術資産	東京大学	「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」
放送番組	放送番組センター	「放送ライブラリー公開番組データベース（ドラマ）」
	日本放送協会	「動画で見るニッポンみちしる」
公共データ	総務省・内閣官房IT総合戦略室	「データカタログサイト」

※第8回実務者検討委員会以降の新規連携は赤字

ジャパンサーチ連携の状況

※データ件数は概数

連携済

一部連携済

連携調整中

連携の進め方の
検討が必要

	国の機関	公立・公共	私立・民間
出版物等	<p>「国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）」（国立国会図書館）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立国会図書館が収集・保存する資料のデジタル化資料：250万件 NDLサーチの連携機関（都道府県立図書館、大学図書館、民間デジタルアーカイブ等）が提供するデジタル化資料：6.5万件※追加調整中 国内出版物の書誌情報：580万件 		
公文書等	<p>「国立公文書館デジタルアーカイブ」（国立公文書館）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立公文書館所蔵の公文書等：約360万件 	<p>その他、国立公文書館等 15館</p> <p>大学文書館</p>	<p>都道府県立・市町村立公文書館</p> <p>私立・民間のアーカイブズ</p>
文化財	<p>「文化遺産オンライン」（文化庁） ・国指定文化財 約13万件</p> <p>「ColBase」（国立文化財機構） ・国立博物館収蔵・寄託品：約13.4万件</p>	<p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p> <p>地方指定文化財</p>	<p>私立・民間の博物館・美術館等</p>
美術	<p>「国立美術館所蔵作品総合目録検索システム」（国立美術館）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立美術館4館の所蔵作品 4.1万件 <p>「アートコモンズ」（国立美術館） 日本国内で開催された展覧会の情報 約4.5万件</p>	<p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p>	<p>「写真原板データベース（日本写真保存センター）」6,800件</p>
メディア芸術	<p>「メディア芸術データベース」（文化庁）</p> <p>【ゲーム】文献、公式ウェブサイト等、【アニメ】情報誌、文献等、【マンガ】所蔵館8機関、【メディアアート】展覧会図録、文献等、約479万件</p>	<p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p>	<p>RCGS Collection（立命館大学ゲーム研究センター）</p> <p>Japan Content Catalog(VIPO) 脚本、アーティスト情報 6.9万件</p>
映画	<p>「日本アニメーション映画クラシックス」</p> <p>「映像でみる明治の日本」（国立映画アーカイブ）</p>	<p>文化庁</p> <p>「日本映画情報システム」</p> <p>4.7万件（映倫審査作品）</p>	<p>都道府県立・市町村立博物館・美術館等</p>
舞台芸術	<p>連携の進め方の 検討が必要</p>		<p>「演劇資料総合データベース」（早稲田大学演劇博物館） 300件</p>
自然史・理工学	<p>「S-Net」（国立科学博物館）</p> <p>標本資料データ 450万件</p>	<p>「魚類写真資料データベース」（国立科学博物館・生命の星・地球博物館）魚類写真 10.8万件</p>	<p>都道府県立・市町村立の科学博物館等</p> <p>私立・民間の科学博物館等</p>
人文学	<p>「人間文化研究機構統合情報検索システム nihuiNT」（人間文化研究機構）</p> <p>人間文化研究機構6機関のデータ 85.6万件</p>	<p>人文学関係のコレクションを有する大学、研究機関、地方自治体等</p>	<p>「ARC古典籍データベース」</p> <p>「ARC浮世絵データベース」（立命館大学ARC） 28.2万件</p>
学術資産	<p>「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」（東京大学）約14万件</p> <p>「京都大学研究資源アーカイブ」（京都大学）</p>	<p>学術資産を有する大学、研究機関、地方自治体等</p>	
データセット	<p>「データカタログサイト」（総務省行政管理局・内閣官房IT戦略室）</p> <p>府省庁のデータセット 2.5万件</p>	<p>地方自治体（都道府県、市町村等）の公共データ</p>	<p>私立・民間のデータセット</p>
放送番組		<p>「動画で見るニッポンみちしる」（NHK）4,000件</p>	<p>「放送ライブラリー公開番組DB」（放送番組センター）</p> <p>ドラマのデータ 3,000件</p>

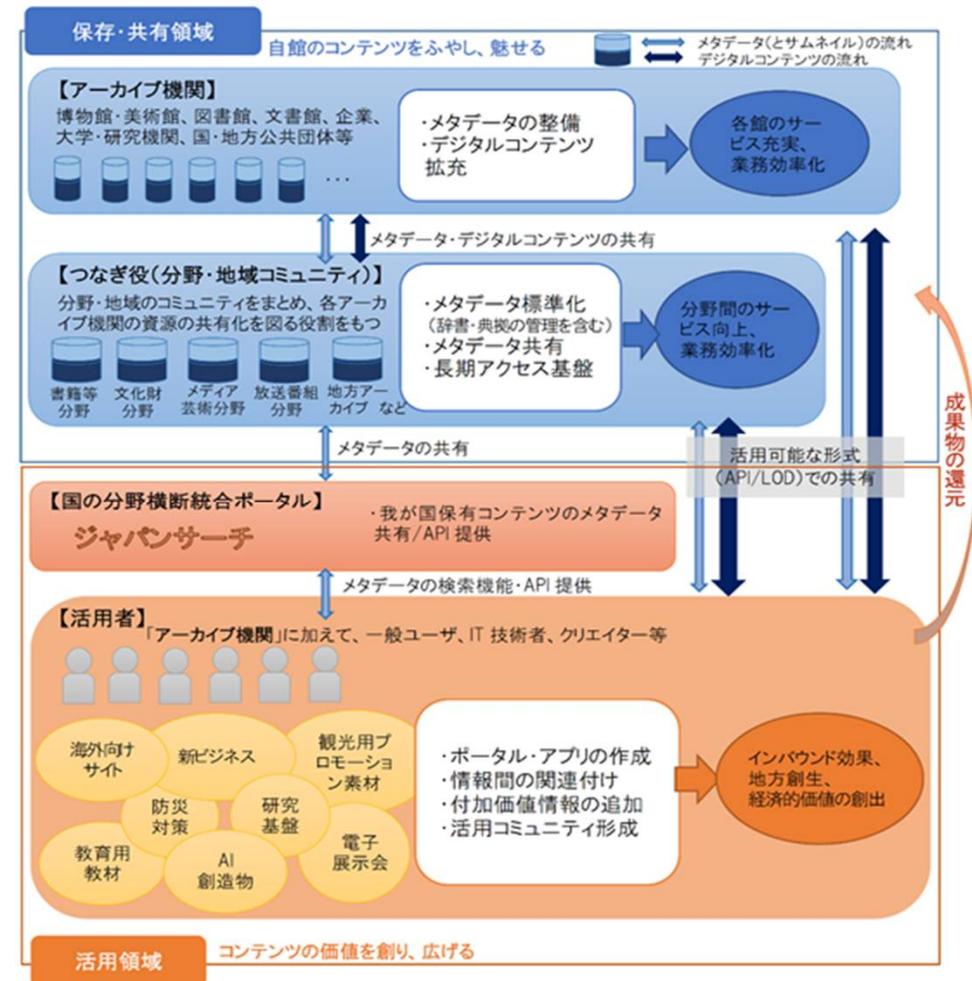
ジャパンサーチの連携方針

国の分野横断型統合ポータルであるジャパンサーチとアーカイブ機関との連携は、原則として、つなぎ役を通じて連携することが望ましい。ただし、現時点においてメタデータ集約を行うつなぎ役が明確ではない分野・地域が多い。そこで、それらの分野・地域については、次の条件に当てはまるアーカイブ機関との直接連携を検討することとする。

- 国の機関であり、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
- 公益に資する目的のため、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
- 唯一性・独自性の高いコンテンツ群を塊として扱う分野・地域を代表するアーカイブ機関
- その他（実務者検討委員会において適当と認められるアーカイブ機関）

※第二次中間取りまとめ p.33（実務者検討委員会、平成31年4月）

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_kyougikai/houkokusho.pdf



つなぎ役として望まれる役割（これまでの議論）

- (ア) 分野/地域の独自性を反映したポータルを整備・提供
- (イ)（分野/地域における、以下同）メタデータの集約、API 提供
- (ウ) メタデータの整備推進
- (エ) メタデータの標準化、用語の統制（辞書・典拠・シソーラス）
- (オ) デジタルコンテンツ等の二次利用条件の整備・オープン化の推進
- (カ) 所蔵資料/収蔵品等のデジタル化のための技術や法務上の業務支援
- (キ) コンテンツの長期保存・永続的アクセス保証（データホスト）への協力
- (ク) 意識啓発・人材育成
- (ケ) 活用促進のための取組

（出典）我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性 p.21（デジタルアーカイブの連携に関する関係省庁連絡会・実務者協議会、平成29年4月）
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_kyougikai/houkokusho.pdf

つなぎ役は一つの機関が全ての役割を担う必要はない。行政が中心となって産学官が連携して役割を分担・整備し、つなぎ役を支援していくことが求められる。特に地域のつなぎ役については、地方自治体が主体的に推進することが重要であり、社会教育施設や大学の役割と併せて考えていくという観点も必要との意見があった。現状、地域におけるつなぎ役となり得るのは、地域における規模の大きな図書館や大学等のアーカイブ機関であり、さらにつなぎ役のすそ野を広げるのであれば、複数の機関によるアライアンスを形成することも考えられるのではないかとこの意見があった。

（出典）第二次中間取りまとめ p.34（実務者検討委員会、平成31年4月）
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_kyougikai/houkokusho.pdf

ジャパンサーチとの連携における役割の整理（例）

アーカイブ機関

1. つなぎ役に対し、ジャパンサーチにデータを提供するための文書（依頼状に対する回答書）を提出
2. つなぎ役へのメタデータ提供、又はジャパンサーチ管理画面におけるメタデータ登録
3. 必要に応じ、ギャラリー及びテーマ別検索の作成・公開

つなぎ役

1. **ジャパンサーチに提供されたデータの取扱いに関する文書取り交しの窓口（依頼状を受理し、回答書を発出）**
2. **ジャパンサーチと連携するメタデータの取りまとめ（ポータルがなくとも、ファイルでの取りまとめでも可）、又はメタデータの標準化に関する取組（ジャパンサーチにデータを提供する際の標準的なメタデータ項目の推奨）**
3. ジャパンサーチと連携するアーカイブ機関/データベースの推薦
4. ジャパンサーチとの連携に関する情報提供窓口（連携に関する説明会の開催など）
5. ジャパンサーチに関する広報への協力
6. その他、アーカイブ機関に対する必要な支援

知財事務局

1. つなぎ役の役割に関する文書の発出
2. ジャパンサーチの運用を決定する会議体の運営事務
3. ジャパンサーチに関する広報

国立国会図書館

1. データの取扱いに関する文書の取り交し（依頼状の発出、回答書の受理）
2. アーカイブ機関のメタデータ登録作業等への技術的支援
3. ジャパンサーチの運用を決定する会議体の運営事務への協力
4. ジャパンサーチに関する広報

当面の連携の進め方について（提案）

1. ジャパンサーチと連携するつなぎ役の必要最小限の役割を具体化し、ポータル運営を必須としないつなぎ役を許容する。そのつなぎ役を通じて魅力あるデジタルアーカイブとの連携を進める。

→ つなぎ役のハードルを下げ、メタデータの集約を促す

2. 連携機関数が一定規模に達するまでは、連携方針等（※）に則り、実務者検討委員会の承認を経て、魅力あるデジタルアーカイブとの直接連携を進める。連携後、同じタイプの連携機関のグループ化を行い、つなぎ役の創出を促す。

※ 連携方針の他、「[デジタルアーカイブアセスメントツール](#)」*の達成状況も参考にする。

→ 直接連携を進める中で、将来的に、ジャパンサーチの中で新たなつなぎ役・コミュニティが生まれることを期待

- 連携候補についてご推薦等があれば、実務者検討委員会事務局まで随時お知らせください。